



“素人集団”で世界標準な強化磁器食器工場を築きあげた九セラ(株)!!

給食の食器といえば、何を思い浮かべますか？時代により、アルマイトやステンレス、樹脂など様々だと思いますが、現在はメラミンやPEN 食器などの“樹脂食器”と“強化磁器食器”が主流となっています。今回は、素人集団から強化磁器食器製造国内最大手まで成長を遂げた「九セラ(株)」をご紹介します。常務取締役の中島 廣輝さんにお話を伺いました。



設立当初の2基から4基に増設した窯炉

創立の経過は？

土や粘土、鉱石などを主原料に高温で焼き固めたもの、すなわち、焼き物全般を“セラミックス”と言いますが、エレクトロニクス産業等の発展と共に、より高性能・高精密なセラミックスが求められるようになり、1970年代に工業部品として高い付加価値を有している「ファインセラミックス」の研究ブームが起きました。大牟田にも九州ハイテック工業(株)が開発研究所を開設。その後、当社の親会社の有明商事(株)が、1988年(昭和63年)に「九州セラミックス工業(株)」を設立して九州ハイテック工業(株)の設備一式を購入し、四山工場にて工業用ファインセラミックスの開発研究と製造を開始しました。翌1989年には、一般になじみやすい強化磁器の分野を開拓しようと、いち早く手鎌の現所在地に強化磁器食器工場を建て2009年には強化磁器事業が「九セラ(株)」として分離独立。今日まで32年間徐々に業容を拡大してきました。

食器製造のノウハウはお持ちだったのですか？

工業用ファインセラミックスの知見はあったものの、食器については全くの素人でしたので、当初有田から工場長を招へいして指導を受けました。しかし都合があって3年程で辞められ、その後は残された素人集団が懸命になって“成形”“絵付け”“焼成”と、磁器製造工程を習得しました。そのため、成形や絵付けなど専門過程に分化している工場が多い陶磁器業界において、ここでは全ての過程を習得している多能技術者が多く、必要に応じ成形、絵付け、焼成と日替わりで従事しています。これにより作業体制を安定させ、加えてコストを抑えることが可能になったのです。現在当工場では、製造15名、営業・事務5名の社員数20名体制で、毎日約2000個、年間に50~60万個を生産しています。既成概念にとらわれない素人集団だったからこそ、今日の成長があったのだと思います。



アルミナ等を配合した粘土質の原材料を成形

強化磁器食器の特徴は？どんなところで使われていますか？

当社の強化磁器には「強い・軽い・安全・白い」という4つの特徴があります。厳選された陶磁器原料に高純度アルミナの超微粒子を最適の比率で配合し、1350℃の高温で焼成するため、従来の磁器の3倍程の強度を持ち、また熱や酸に強く有害物質が溶出する心配がありません。その強度のため薄く作ることができ、約20%の軽量化を実現。焼き上がりはアルミナの特長である高級感漂う白地に絵柄が引き立ち、“長期間に亘り衛生的に美しく”ご使用頂けます。

当社製品は主に保育園や学校の給食用で採用されており、売上の約80%以上を占めています。大牟田市では100%当社の食器を採用いただいています。初めて採用いただいたのは、平成2年、倉永小学校の全学年が集まって食事をする“ランチルーム”でした。全国的には、強化磁器食器を採用している学校の50%強、保育園では60%強を当社の製品が占めており、特に幼児向け商品は、保育園の栄養士さんや大学生、商社の方々と相談しながら、「キッズメイト」のブランドで、食べやすい・飲みやすい機能を持つ“ユニバーサルデザイン”の食器・スプーンなどを考案し品揃えしています。

現在これらの施設で採用されている食器のおよそ65%は樹脂食器で、残り35%が磁器系の食器です。従来は樹脂食器が圧倒的に使用されていましたが、メラミン食器からのホルムアルデヒドや、ポリカーボネイト樹脂からの環境ホルモンの溶出问题等が提起される度に強化磁器食器の採用が増えてきました。

樹脂食器とのコスト比較においても競争力はあると考えています。樹脂食器は割れませんが、変色などで寿命は約5年。取り換え時期に高額な費用が掛かりますが、強化磁器の場合は割れた物の補充でいいわけです。また、食器にナイフやフォークの傷跡が付くことがありますが、磁器の場合、焼き直しをすることでこれを消すことができるため、リニューアールして使用されている自治体もあります。割れた磁器も回収して土に混ぜ再利用しており、SDGsに適した製品だとも言えます。

これからは、給食に限らず福祉施設等での利用に向けた製品づくりにも力を入れていきたいと考えているところです。



ユニバーサルデザインの食器等

今後の抱負



新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて変化している飲食の形態(個食等)に適した食器の提案や、プラスチックのごみ問題が大きくなっている現在、天然素材である磁器の有用性、さらには強化磁器の特徴を生かせる、食器以外の新たな分野への開拓を行いたいと思います。

会社概要

九セラ(株)

福岡県大牟田市大字手鎌 318-2

TEL : 0944-53-1330

MAIL : ceramate@siren.ocn.ne.jp

HPはこちら

